

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-219240

(43)公開日 平成6年(1994)8月9日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 0 R 22/32		9253-3D		
22/26		9253-3D		

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平5-13299

(22)出願日 平成5年(1993)1月29日

(71)出願人 000002082

スズキ株式会社

静岡県浜松市高塚町300番地

(72)発明者 市川 昌人

静岡県浜松市高塚町300番地 スズキ株式
会社内

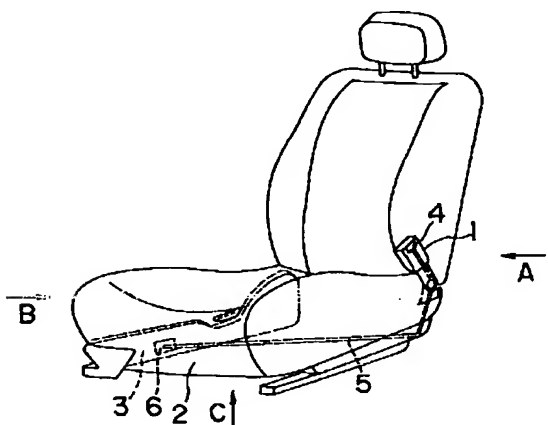
(74)代理人 弁理士 奥山 尚男 (外2名)

(54)【発明の名称】 シートベルトのリリース装置

(57)【要約】

【目的】 シートベルトバックルのロック解除操作を容易にする。

【構成】 本発明の装置は、シートクッション2の側方にシートベルトバックル1を設けた自動車のシートにおいて、上記シートクッション2のシートベルトバックル1と反対側に、該シートバックル1に連結した操作手段6を設け、該手段6によってシートベルトバックル1のロック状態を解除するようにしたことを特徴とする。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 シートクッションの側方にシートベルトバックルを設けた自動車のシートにおいて、上記シートクッションのシートベルトバックルと反対側に、該シートバックルに連結した操作手段を設け、該手段によってシートベルトバックルのロック状態を解除するようにしたことを特徴とするシートベルトのリリース装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明はシートベルトのリリース装置に関する。

【0002】

【従来の技術とその課題】自動車のシートベルトは、バックルにタングプレート挿入してロックしてある。ロックを解除する場合には、バックルのアレスボタンを押し込んでタングプレートを外すようになっている。しかし、手が不自由などのためこのような操作を行うことが困難な場合がある。本発明は、このような事情に鑑み、通常の操作のできない場合でも、シートベルトバックルのロック解除が容易に行えるシートベルトのリリース機構を提供することを目的とする。

【0003】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するための本発明は、シートクッションの側方にシートベルトバックルを設けた自動車のシートにおいて、上記シートクッションのシートベルトバックルと反対側に、該シートバックルに連結した操作手段を設け、該手段によってシートベルトバックルのロック状態を解除するようにしたことを特徴とする。

【0004】

【実施例】図1に、本発明のリリース機構を採用した自動車用シートを示す。同図において、1はシートクッション2の後部側面に固設したシートベルトバックル、3はシートクッション2のシートベルトバックル1と反対側の側面に設置したリクライニングカバーである。シートベルトバックル1のアレスボタン4にはその下方に係止部4aを設けてあり、この係止部4aにワイヤー5の一端が接続してある。該ワイヤー5はシートクッション2の底面側を通り、その他端をリクライニングカバー3に設置したノブ（操作手段）6に接続してある。ワイヤー5はクランプ部材7によって複数箇所をシートクッション2に支持するとともに、中間部にテンショナー8を設置して緩みの発生を防止している。よって、ノブ6を

2

引っ張ると、ワイヤー5がシートベルトバックル1のアレスボタン4を下方に引張り、シートベルトバックル1のロック状態が解除される。なお、図5と図6において、9はシートベルト、10はタングプレート、11はスライドレールである。

【0005】図7ないし図10に、シートベルトバックル1をフロアに取り付けた場合の変形例を示す。この場合には、シートベルトバックル1をアングル12でフロア13に立設するとともに、ワイヤー5をスライドレール11の下方に通してカバー14で覆ってある。その他の部材は上述の実施例と同様に構成してあるので、同一符号を付し説明を省略する。

【0006】

【発明の効果】本発明では、シートクッションのシートベルトバックルと反対側に、シートベルトバックルのロック状態を解除する操作手段を設置してあるので、たとえば手が不自由で、従来のシートバックルの位置、操作方法では操作できない人に対しても、シートベルトバックルのロック解除を容易に行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の装置を採用した自動車用シートの斜視図である。

【図2】図1のシートベルトバックルを矢印A方向から見た図である。

【図3】図1のシートを矢印B方向から見た図である。

【図4】図1のシートを矢印C方向から見た図である。

【図5】シートベルトバックルとタングプレートの斜視図である。

【図6】図3に示したE-E線による断面図である。

30 【図7】本発明の他実施例を示す正面図である。

【図8】図7の側面図である。

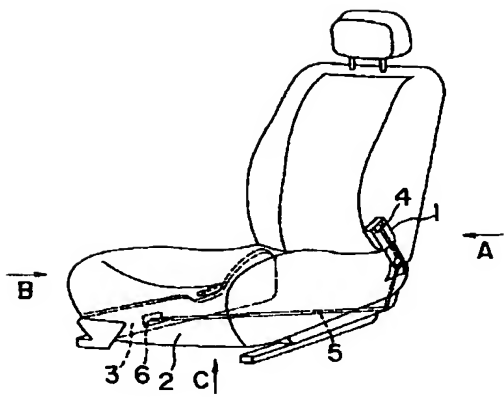
【図9】図8に示したF-F線による断面図である。

【図10】図7のシートベルトバックルを拡大して示す図である。

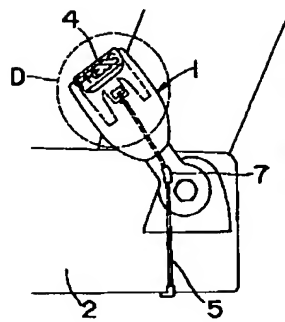
【符号の説明】

- 1 シートベルトバックル
- 2 シートクッション
- 3 リクライニングカバー
- 4 アレスボタン
- 5 ワイヤー
- 6 ノブ
- 7 クランプ部材
- 8 テンショナー

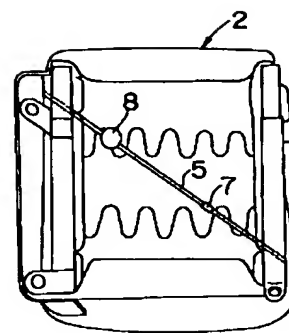
【図1】



【図2】



【図4】

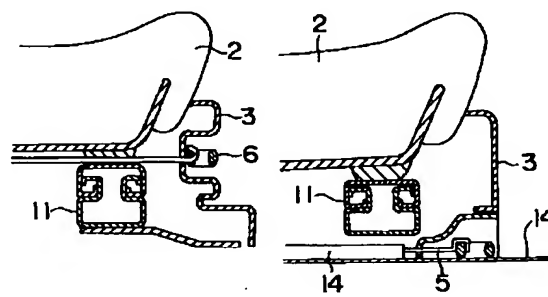
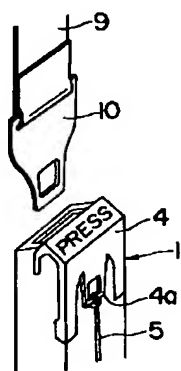
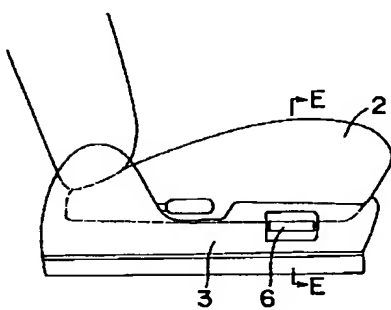


【図6】

【図9】

【図3】

【図5】



【図10】

【図7】

【図8】

